

教 育 費

1 0 教育費 1 教育総務費 1 教育委員会費

① 教育委員会運営費（文教課）

1 教育委員会の開催（13回開催）

取扱議案

開催日	議案
4月24日	議案なし（諸報告のみ）
5月16日	議案第8号 向日市議会令和6年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
7月3日	議案なし（諸報告のみ）
7月23日	議案第9号 いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について
8月20日	議案第10号 向日市議会令和6年第3回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
8月27日	議案第11号 令和7年度に使用する中学校教科用図書の採択について 議案第12号 令和7年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について
9月26日	議案第13号 向日市議会令和6年第3回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について 議案第14号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について
10月29日	議案第15号 向日市小中学校個別計画の改訂（案）について
12月24日	議案第16号 向日市文化財保護審議会委員の任命について
1月30日	議案なし（諸報告のみ）
2月13日	議案第1号 向日市部活動指導員設置規則の制定について 議案第2号 向日市議会令和7年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
2月27日	議案第3号 人事に関することについて
3月25日	議案第4号 人事に関することについて 議案第5号 向日市社会教育委員の委嘱について 議案第6号 向日市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 議案第7号 向日市教育委員会職員の職の設置に関する規則及び向日市文化資料館管理運営規則の一部を改正する規則について 議案第8号 向日市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について 議案第9号 向日市天文館の事業開催時の入館料に関する取扱要綱について 議案第10号 令和7年度向日市の教育について

2 総合教育会議の開催（1回開催）

第1回 令和7年3月14日

議題 「教育大綱の策定について」

1 0 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

② 事務局運営費（学校教育課）

1 適応指導教室の設置

市内の登校しづらい児童生徒を対象に個々の実態に応じた相談活動や体験学習等を通じて、主体性の育成や社会性を育み、学校への復帰や希望進路の実現につなげられるよう、教育支援センター「ひまわり広場」を開設した。

2 教育相談事業の充実

小中学生の保護者等を対象に来所教育相談（市役所等）や電話教育相談、学校への巡回教育相談や学校訪問による教育相談を実施した。年々、相談の内容が多様化・複雑化する中、継続的な相談へも丁寧に対応した。

3 豊かな心のサポート充実事業

小中学校に「心の相談サポーター」を配置し、不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談等を行い、生徒の悩み、不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境を提供した。

4 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の展開

全ての市立小中学校に学校運営協議会を設置し、学校や保護者、地域住民等が力を合わせて、学校運営に取り組んだ。

1 0 教育費 1 教育総務費 3 幼児教育振興費

① 幼児教育振興費（文教課）

1 私立幼稚園設備費補助金	630,000 円	（1 園当たり 210,000円）
2 私立幼稚園教材教具購入補助金	270,000 円	（1 園当たり 90,000円）
	383,400 円	（1 人当たり 900円）
3 乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金	195,000 円	（1 園当たり 65,000円）
4 私立幼稚園特別支援教育振興補助金	3,136,000 円	（1 人当たり 98,000円）

1 0 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

① 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 小学校登下校交通安全事業

通学路の危険箇所48か所に交通指導員の配置や、「交通安全反射電柱幕」の設置を行い、通学路の安全を図った。

また、向日町警察署等の協力を得て交通安全教室を開催するなど、交通安全意識の高揚に努めた。

3 教育支援委員会

(1) 目的

市立小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童及び生徒について、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な就学について審議し、相談及び指導を行った。

(2) 委員構成（44人）

市立小中学校教職員	25 人	市内私立幼稚園教職員	3 人
市立保育所職員	3	医師	1
市内私立保育園職員	4	保健師	1
特別支援教育専門職	2	教育委員会事務局職員	3
児童福祉施設職員	1	臨床心理士	1

(3) 相談指導件数 104 件

② 学校給食管理費（学校教育課）

1 小学校給食

令和6年5月1日現在

学 校 名	給食実施児童数
向 陽 小 学 校	603 人
第2向陽小学校	542
第3向陽小学校	307
第4向陽小学校	797
第5向陽小学校	492
第6向陽小学校	333
計	3,074

実施方法等

(1) 手 法：単独校調理場方式

(2) 献立内容：完全給食、米飯週4回、パン週1回

2 給食備品の整備

食器消毒保管庫、ガス回転釜、牛乳保冷库、給湯器等給食備品を購入した。

3 給食設備保守点検

給食機器保守点検業務委託

4 食中毒防止対策

栄養士等給食関係従事者の保菌検査の実施

5 学校給食調理等業務委託

学校給食調理等業務委託実施（全小学校）

6 公会計による給食費の徴収

小学校給食費について、教職員の負担軽減等を図るため、市が徴収管理を行う公会計により、口座振替及び納付書による徴収を実施した。

7 物価高騰による学校給食費の値上げ分の補助（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業）

物価高騰による負担増を強いられている市立小学校児童の保護者の負担軽減を図るため、学校給食費の値上げ分相当額について補助を実施した。

事業費： 25,587,135円

③ 健康管理費（学校教育課）

- 1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）
- 2 1年生児童に心電図検査を実施
- 3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 小学校就学予定者を対象とする就学时健康診断の実施
- 6 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施
- 7 教職員に対しストレスチェックを実施するとともに、長時間労働者のうち希望者を対象に医師等による面接指導を実施

④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑤ 学校施設管理費（文教課・公共建物整備課）

1 小学校施設修繕

全 校	衛生設備器具、消防設備
向 陽 小 学 校	漏水、空調設備、照明設備、黒板、教室床、廊下塗装
第2向陽小学校	漏水、空調設備、照明設備、プールシャワー、建具
第3向陽小学校	給食室床、シャワー設備、廊下塗装、扇風機
第4向陽小学校	空調設備、グラウンドフェンス、建具
第5向陽小学校	漏水、空調整備、照明設備、廊下床、ロッカー
第6向陽小学校	漏水、照明設備、シャッター、暗幕カーテン、樹木撤去

2 施設保守管理業務委託等

全 校	機械警備、学校管理、便器等清掃、運動施設遊具保守点検 自家用電気工作物保安管理、消防用設備等保守点検管理 GHP空調機器保守管理、樹木剪定、プールろ過装置保守点検
向 陽 小 学 校	除草、受水槽・高架水槽清掃点検管理、エレベーター保守管理点検 自動ドア定期点検管理
第3向陽小学校	給食リフト保守点検管理
第4向陽小学校	給食リフト保守点検管理
第5向陽小学校	受水槽・高架水槽清掃点検管理、給食リフト保守点検管理
第6向陽小学校	受水槽・高架水槽清掃点検管理、給食リフト保守点検管理

第2向陽小学校改築事業（令和6年度主要事業）（令和7年度繰越分）

第2向陽小学校改築基本計画及び基本設計業務（契約繰越）

3 学校施設環境整備事業

児童生徒が安心・安全な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、車椅子使用者用トイレ設置等バリアフリー化整備工事、校舎のトイレ改修工事、LED改修工事を実施した。

- (1) バリアフリー化整備工事（5 向小） 4,158,000円（令和5年度繰越分）

事業内容：多機能トイレ、照明器具、手洗器具などの整備

- (2) トイレ改修工事（向・5 向小） 56,331,000円（令和5年度繰越分）

事業内容：トイレの洋式化、衛生機器及び照明器具の更新

- (3) LED改修工事（3・5 向小） 5,778,824円（令和5年度繰越分）

事業内容：教室、廊下等の照明機器のLED化

4 小中学校体育館空調整備事業（令和6年度主要事業）

児童生徒の安心安全な教育環境の確保のほか、災害時には避難所としても使用する小中学校の全体育館に空調設備を整備した。

小学校体育館空調整備工事 62,260,000円

10 教育費 2 小学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業

児童一人ひとりの障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、学習及び発達の保障に努めるとともに、特別支援教育指導員（2 向小・3 向小・4 向小・6 向小）の活用や特別支援教育支援員の配置により、きめ細かな支援を行った。また、全小学校に設置した通級指導教室において、児童の障がいに応じた指導を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	WISC-V換算アシスタント、なわとびボール
第2 向 陽 小 学 校	WISC-V換算アシスタント、もじブロック
第3 向 陽 小 学 校	WISC-V換算アシスタント、ミュージックパッド
第4 向 陽 小 学 校	WISC-V換算アシスタント、はだしバランスボード
第5 向 陽 小 学 校	WISC-V換算アシスタント、バランスクッション
第6 向 陽 小 学 校	WISC-V換算アシスタント、固綿軽量ユニット畳

3 通級指導教室用教材備品購入

主 な 購 入 備 品 名
わごむパターンボード、クアルト、リバーストーンズ

4 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	20 人	511,100 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	106	701,720
校外活動費（宿泊を伴うもの）	14	22,638
修学旅行費	9	270,481
給食費	106	2,375,515
合 計		3,881,454

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	令和6年度末蔵書冊数
向 陽 小 学 校	394 冊	117 冊	350 冊	13,205 冊
第2向陽小学校	402	93	400	13,139
第3向陽小学校	356	49	400	13,049
第4向陽小学校	319	106	400	13,069
第5向陽小学校	337	38	300	13,119
第6向陽小学校	370	25	300	13,139
計	2,178	428	2,150	78,720

※購入冊数には、ふるさと応援寄附等による購入分325冊を含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	昆虫標本、CDレシーバー、ゴール用防護マット、跳び箱運搬車
第2向陽小学校	気体検知管式測定器、気体採取機ハンドル、石灰水採水びん
第3向陽小学校	鉄棒補助パット、エコブロック跳び箱、タブレットスタンド、アイロン
第4向陽小学校	スクールタイマー、CDラジオ、文字練習短冊黒板、バッティングティー
第5向陽小学校	サイエンススタンド、丸形水そう、人体解剖模型、卓球ラケット
第6向陽小学校	絵画作品乾燥棚、アコーディオン、走り高跳びスタンド、コンガ

3 要保護・準要保護児童援助費

経済的理由により就学が困難と認められる児童に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	48 人	2,738,880 円
学用品費等	333	5,158,648
校外活動費（宿泊を伴うもの）	49	183,153
修学旅行費	59	1,206,783
通学費	1	29,820
給食費	325	15,090,471
医療費	10	48,612
オンライン学習通信費	1	14,000
合 計		24,470,367

4 府の委託・補助事業

府「不登校児童生徒支援システム構築事業」 実践研究指定校：向陽小学校・第5向陽小学校

府「京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～」活用推進事業

実践研究指定校：第2向陽小学校・第6向陽小学校

5 タブレット端末学習システム整備事業

「GIGAスクール構想の実現」において市内の小中学校に導入したタブレットを活用して、より質の高い教育を実践するために、授業支援システムとデジタルドリルの導入を行った。

事業費：10,494,000円

③ ひまわり教育費（学校教育課）

児童の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習、教員研修等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

子ども未来づくり支援事業

児童の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員を対象とした講演会及び研修会を実施した。

1 0 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

① 学校管理運営費（学校教育課）

校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

② 学校給食管理費（学校教育課）

1 中学校給食

令和6年5月1日現在

学 校 名	給食実施生徒数
勝 山 中 学 校	553 人
西 ノ 岡 中 学 校	363
寺 戸 中 学 校	468
計	1,384

実施方法等

(1) 手 法：センター方式（学校給食センターから各中学校配膳室へ配送）

(2) 献立内容：完全給食、米飯週5回、小学校より副食を概ね1品プラス

2 給食設備等保守点検業務委託

(1) 消防用設備等保守点検業務

(2) シャッター保守点検業務

(3) 自動扉保守点検業務

(4) エアシャワー保守点検業務

(5) ガスヒートポンプ保守点検業務

(6) ガス給湯器保守点検業務

(7) 給食機器保守点検業務

3 食中毒防止対策

(1) 栄養士等給食関係従事者の保菌検査の実施

(2) 食材検査の実施

4 中学校給食調理等業務委託

学校給食センターにおける給食調理、各中学校の配膳室への配送・回収、食器類の洗浄等について民間事業者に委託した。

5 公会計による給食費の徴収

中学校給食費について、教職員の負担軽減等を図るため、市が徴収管理を行う公会計により、口座振替及び納付書による徴収を実施した。

6 物価高騰による学校給食費の値上げ分の補助（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業）

物価高騰による負担増を強いられている市立中学校生徒の保護者の負担軽減を図るため、学校給食費の値上げ分相当額について補助を実施した。

事業費： 10,353,312円

③ 健康管理費（学校教育課）

生徒及び教職員の健康保持・増進に努めるとともに、保健安全教育を実施した。

1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）

2 1年生生徒に心電図検査を実施

3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施

4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出

5 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施

6 教職員に対しストレスチェックを実施するとともに、長時間労働者のうち希望者を対象に医師等による面接指導を実施

④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑤ 学校施設管理費（文教課・公共建物整備課）

1 中学校施設修繕

全校	衛生設備器具、舞台吊物、消防設備、照明設備
勝山中学校	漏水、空調設備、屋根防水、シャッター、縦樋、防球ネット
西ノ岡中学校	漏水、受電設備、グラウンドフェンス、防球ネット
寺戸中学校	空調設備、プールサイド、教室床、暗幕カーテン

2 施設保守管理業務委託等

全校	機械警備、学校管理、便器等清掃、運動施設遊具保守点検 自家用電気工作物保安管理、消防用設備等保守点検管理 GHP空調機器保守管理、樹木剪定
勝山中学校	除草、受水槽・高架水槽清掃点検管理、薬剤散布
西ノ岡中学校	プールろ過装置保守点検管理、受水槽・高架水槽清掃点検管理
寺戸中学校	プールろ過装置保守点検管理

3 学校施設環境整備事業

児童生徒が安心・安全な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、車椅子使用者用トイレ設置等バリアフリー化整備工事、校舎及び体育館のトイレ改修工事、LED改修工事を実施した。

中学校施設整備工事

(1) バリアフリー化整備工事（西ノ岡中） 9,427,000円（令和5年度繰越分）

事業内容：多機能トイレ、照明器具、手洗器具などの整備

(2) トイレ改修工事（勝山中・西ノ岡中・寺戸中） 28,952,000円（令和5年度繰越分）

事業内容：トイレの洋式化、衛生機器及び照明器具の更新

(3) LED改修工事（勝山中・西ノ岡中） 7,035,076円（令和5年度繰越分）

事業内容：教室、廊下等の照明機器のLED化

4 小中学校体育館空調整備事業（令和6年度主要事業）

児童生徒の安心安全な教育環境の確保のほか、災害時には避難所としても使用する小中学校の全体育館に空調設備を整備した。

中学校体育館空調整備工事 44,830,000円

10 教育費 3 中学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業

生徒一人ひとりの障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、学習及び発達の保障に努めた。また、特別支援教育支援員を配置し、きめ細かな支援を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	WISC-V換算アシスタント、ショベル、くわ
西 ノ 岡 中 学 校	WISC-V換算アシスタント、薄型テレビ対応テーブル
寺 戸 中 学 校	パーティションホワイトボード、レクリエーションボッチャセット

3 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	9 人	274,410 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	24	300,600
修学旅行費	6	386,314
給食費	24	551,310
体育実技用具費（柔道）	4	10,800
合 計		1,523,434

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	令和6年度末蔵書冊数
勝 山 中 学 校	486 冊	36 冊	400 冊	18,693 冊
西 ノ 岡 中 学 校	431	3	310	19,005
寺 戸 中 学 校	459	30	310	19,060
計	1,376	69	1,020	56,758

※購入冊数には、ふるさと応援寄附等による購入分206冊を含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	文化箏、ピンハドル、ガスコンロ、直流交流電源装置
西 ノ 岡 中 学 校	握力計グリップ、ホワイトボード、木工用糸のこ
寺 戸 中 学 校	スクールタイマー、直流交流電源装置、生物顕微鏡

3 音楽・吹奏楽部備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
寺 戸 中 学 校	ユーフォニウム

4 要保護・準要保護生徒援助費

経済的理由により就学が困難と認められる生徒に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	58 人	3,654,000 円
学用品費等	210	5,577,650
校外活動費（宿泊を伴うもの）	1	11,187
修学旅行費	70	4,027,362
通学費	3	300,090
給食費	204	10,726,990
医療費	1	3,000
体育実技用具費（柔道）	28	146,700
オンライン学習通信費	0	0
合 計		24,446,979

5 府の委託・補助事業

(1) 府「乙訓学力充実校」

実践研究指定校：西ノ岡中学校

(2) 府「不登校児童生徒支援システム構築事業」

実践研究指定校：勝山中学校

(3) 府「未来の担い手育成プログラム研究校」

実践研究指定校：西ノ岡中学校

(4) 府「京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～」活用推進事業

実践研究指定校：西ノ岡中学校

6 タブレット端末学習システム整備事業

「GIGAスクール構想の実現」において市内の小中学校に導入したiPadを活用して、より質の高い教育を実践するために、授業支援システムとデジタルドリルの導入を行った。

事業費：5,181,000円

7 英語検定チャレンジ事業

英語への興味関心を高め、英語力の向上を図るため、市内在住の中学3年生を対象に英語検定を実施した。

- (1) 受験会場 永守重信市民会館
- (2) 受験級 準2級、3級
- (3) 受験者数 (準2級) 82人、(3級) 132人
- (4) 事業費 1,097,830円

③ ひまわり教育費（学校教育課）

生徒の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習、教員研修等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

また、授業や部活動に対して、社会人講師の導入を図った。

1 子ども未来づくり支援事業

生徒の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員を対象とした講演会及び研修会を実施した。

2 文化芸術活動

英語スピーチ大会を開催し、生徒の発表の場を設けるとともに教科学習の活性化を図った。

10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

② 社会教育委員費（生涯学習課）

- 1 社会教育委員 12人（男8人、女4人） ※令和6年4月1日現在

2 社会教育委員の会議

	開催日時・会場	内容
1	5月22日 午前10時～11時25分 永守重信市民会館	・令和6年度社会教育関係事業計画について ・令和6年度社会教育委員関係の事業予定について
2	7月30日 午後1時30分～3時 永守重信市民会館	・向日市民のスポーツに関する意識調査の実施について ・令和6年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告 ・令和6年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会、研修会参加報告 ・令和6年度京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会参加報告
3	11月15日 午前10時～11時30分 文化資料館	・研修「その後の物集女氏」 ・向日市民のスポーツに関する意識調査の報告について ・令和6年度近畿地区社会教育研究大会京都大会参加報告
4	2月12日 午前9時30分～11時25分 市役所 第10会議室	・令和6年度社会教育関係事業報告について ・令和7年度向日市の教育（指導の重点）(案)について ・令和7年度社会教育関係団体等への補助金(予算案)について

3 各種研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参加人数
乙訓社会教育委員等連絡協議会 総会・研修会	6 月 4 日	永守コレクション ギャラリー	17 人
京都府社会教育委員連絡協議会 総会	6 月 28 日	みやづ歴史の館	8 人
近畿地区社会教育研究大会 「京都大会」	9 月 6 日	京都テルサ	12 人
京都府社会教育研究大会			
乙訓社会教育委員等連絡協議会 研修会	2 月 3 日	京都府乙訓総合庁舎	3 人

③ 社会教育活動費（生涯学習課）

1 生涯学習

(1) 向日市生涯学習「人材ほっとバンク」

自らの知識、技能等を市民の学習活動に役立てる熱意のある方及び団体に指導者として登録していただき、希望する市民が活用できるよう市ホームページで周知に努めた。

(2) 生涯学習推進サークル「まなぼうや」の活動支援

生涯学習の推進に取り組むボランティアサークルの活動について、各種講座が円滑に開催されるよう、広報活動等の支援を行った。（合計2講座）

(3) 生涯学習情報紙の発行

生涯学習関連事業を広報するため、生涯学習情報紙及び子ども向けの夏休み特集の情報紙を発行した。

2 人権教育

人権問題の正しい理解と認識を深め、市民の人権意識の高揚を図るため研修会を開催した。

	開 催 日 時	会 場	内 容	講 師	参加人数
1	7月26日 午後7時～8時30分	永守重信 市民会館	講演「部落問題と向き合う若者たち」	関西大学社会 学部教授人権 問題研究室研 究員	28 人
2	12月21日 午前10時～11時30 分	永守重信 市民会館	講演「誰も取り残されない社会のために ～障がいのある人と人権～」	大阪公立大学 アクセシビリ ティセンター 特任准教授	22 人

3 各種講座・研修会

(1) 地域学校協働活動推進事業コーディネーター等研修会

各校の支援事業についてコーディネーターから報告、情報交換を中心に研修会を開催した。

開 催 日 時	会 場	内 容	講 師	参加人数
3月3日 午後7時～午後8時45分	市役所第8会議室	中学校コーディネーター会議	教育部職員	7 人
3月5日 午後2時～午後3時30分	市役所第9会議室	小学校コーディネーター会議		5 人

(2) 家庭教育講座の開催

開 催 日 時	会 場	内 容	講 師	参加人数
11月16日 午前10時～11時30分	永守重信 市民会館	講演「家庭でできる性のお話～ いつから？どんなふうに？～」	えみ助産院 院長	26 人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

市立小中学校のPTA（9校） 180,000円

④ 青少年健全育成費（生涯学習課）

1 健全育成事業

(1) 放課後児童サポート事業（京のまなび教室推進事業）

小学校低学年児童が、高学年の下校時間まで、体力づくりや仲間づくりなどにより健康な心身を育むことができる自由遊び等を行い、その後、全学年の児童が一斉に下校することにより、児童を極力一人にさせない下校を確保している。

ア 実施回数 64回

イ 会場 市内公立小学校

ウ 内容 グラウンド・体育館での自由遊び、図書室での読み聞かせ、教室での学習支援等
エ サポーター 遊び・学習サポーター、安全サポーター

オ 対象者 1～2年生児童

(2) 地域学校協働活動推進事業

保護者をはじめ自治会や農家組合の方など幅広い地域住民の参画を得て、学校に対する多様な協力活動を実施し、地域全体で児童生徒の学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が双方向で連携・協働する活動の充実に向けて取組を進めている。

ア 実施場所 市内公立小中学校

イ 本部委員 61人（男20人、女41人）

ウ 内容 学習支援、環境整備、読書活動支援等

(3) 青少年健全育成市民ふれあいコンサート

ア 実施日 3月20日

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、演奏者と保護者、学校関係者を対象として実施した。

イ 出演団体 勝山中学校吹奏楽部

西ノ岡中学校吹奏楽部

寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部

京都西山高等学校吹奏楽部

京都管楽合奏団 ARTY BEARS

2 関係団体との連携活動

(1) 健全育成活動

少年補導委員会をはじめ、PTA等の関係団体とともに補導パトロールを実施し、青少年健全育成活動に努めた。

主な取組

実施日	内 容
学校の長期休業日	少年補導の地区ごとに夜間パトロール、各支部パトロール延べ527人参加（うち8月3日、4日市内一斉パトロール137人参加）
随 時	青色回転灯装備車等による市内巡回パトロール

(2) 啓発活動

広報むこう（7月号・11月号）に啓発文を掲載し、青少年の非行・被害防止について注意喚起を行った。

(3) 子ども会育成連絡協議会の主な活動

各子ども会等と連携し以下の活動を行った。

ア 7月27日 ものづくり体験教室「銅板レリーフづくり」、「小物入れづくり」

イ 11月17日 ニューススポーツ体験教室 カーリンコン・モルック

ウ 1月19日 手作り体験教室「匂い香教室」

3 はたちの集い

(1) 実施日 1月13日

(2) 会場 永守重信市民会館

(3) 内容 式典

アトラクション：思い出のスライドショー・ビデオレター

(4) 出席者 461人（対象者593人） 出席率：77.7%

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

(1) 向日市子ども会育成連絡協議会 400,000円

(2) 向日市少年補導委員会 500,000円

(3) 向日市青少年健全育成連絡協議会 100,000円

1 0 教育費 4 社会教育費 2 中央公民館費

② 公民館運営費（中央公民館）

中央公民館主催事業

生涯学習時代を迎えた今日、市民の多様化する学習ニーズに応えられる各種講座を開催するなど、学習機会及び情報の提供並びに市民の自主的な学習への支援を行い、生涯学習への環境づくりに努めた。

(1) 講 座

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	講師・指導者	内 容
ふしぎ発見！ 理科教室		小学生		理科好きの子どもを育成するため、国家資格を有する科学の専門家から理科の不思議について学ぶ
	6月22日	全学年 28人	京都技術士会	色と光の不思議な関係
	7月27日	全学年 30人	京都技術士会	天気分かる？不思議な結晶
	8月3日	全学年 31人	京都技術士会	さいせい可能エネルギーで電気をつくろう！
	8月24日	高学年 16人	京都技術士会	ものの周りの流れの力
	9月28日	全学年 28人	京都技術士会	び生物ではっこうさせよう
市民教養講座	5月31日	32 人	ソフトバンク スマホアドバイザー	シニアのためのスマートフォン講座
	9月20日	21 人	府金融広報委員会 フィナンシャルプランナー	老後の生活を守るために
	10月25日	34 人	京都府立大学 名誉教授	物語文学―源氏物語を中心として
	12月14日	22 人	京都府立大学 客員教授	源氏物語、「姫君」にたとえられた植物のうんちく
	12月18日	33 人	ソフトバンク スマホアドバイザー	シニアのためのスマートフォン講座
市民健康講座	11月13日	42 人	京都府立医科大学 教授	高血圧と上手につきあう
	3月15日	63 人	京都府立医科大学 講師	老化と脳
市民文化講座	10月4日	37 人	京都西山短期大学 客員教授	童謡・唱歌の世界
こどもふれあい講座	2月11日	小学生20人	元市内小学校長	将棋が強くなる！教室

※市民文化講座の寺戸公民館以外いずれも会場は永守重信市民会館

(2) 展示・発表

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	会場	内 容
市民文化展	11月22～24日	市民、在勤、在学15歳以上 出品者85人、作品数95点、来場者332人	永守重信市民会館	市民の創作による作品を展示・発表する場を提供するとともに、市民の文化活動の活性化を図った。
学習発表会 「舞台の部」	3月9日	出演7団体 96人、来場者352人	永守重信市民会館	公民館で活動しているクラブ・サークルが学習の成果を発表。

1 0 教育費 4 社会教育費 3 地区公民館費

① 地区公民館費（中央公民館）

1 地区公民館における事業

市民が身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。

講座

公民館名	内 容	実 施 日	参加者数	講 師 ・ 指 導 者
寺 戸	趣味・教養講座 ハワイアンリボンクラフト教室	8月9日	29人	アトリエ主宰者
	健康講座 太極拳体験教室	10月16日	15人	太極拳指導者
	趣味・教養講座 楽しく学ぶ干支剪画教室	11月22日	15人	剪画作家
	趣味・教養講座 寄せ植えを楽しもう	12月19日	31人	園芸店スタッフ
	健康講座 体内時計と健康	12月10日	32人	京都府立医科大学教授
上 植 野	健康講座 元気アップ体操	10月17日	31人	体操インストラクター
	趣味・教養講座 金箔手工芸	12月17日	10人	金箔手工芸作家
鶏 冠 井	趣味・教養講座 春の寄せ植え	3月5日	18人	園芸店スタッフ
森 本	教養講座 特殊詐欺にどう対処するか	3月19日	31人	向日町警察署生活安全課

2 グループ活動

(1) 地区公民館クラブ数・部員数

公民館名	寺 戸	物 集 女	森 本	鶏 冠 井	上 植 野	中 央	計
クラブ数	29	5	13	8	11	1	67
部 員 数	384人	71人	141人	155人	119人	38人	908人

(2) 学習発表会

公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表（展示の部）

公民館名	実 施 日	展示・発表ク ラブ 数、展示点数	クラブ員数	発表内容
上 植 野	令和7年2月8日・9日	2クラブ203点	16人	絵手紙、編み物
鶏 冠 井	令和7年2月15日・16日	7クラブ180点	77人	絵手紙、ペン習字等
森 本	令和7年2月22日・23日	11クラブ45点	114人	生け花、フラワーアレンジメント等
寺 戸	令和7年3月1日・2日	9クラブ345点	85人	絵画、俳句、ハッチワーク等

3 地区公民館使用状況

（単位：回、人）

公民館名	寺 戸	物 集 女	森 本	鶏 冠 井	上 植 野	中央	計
使用回数	1,301	435	498	382	511	60	3,187
使用人数	13,432	5,464	7,525	4,707	7,009	1,684	39,821

4 鶏冠井公民館改修事業（令和6年度主要事業）

鶏冠井公民館の1階和室を会議室に変更する改修工事を行い、和室の洋室化により高齢者等誰もが利用しやすい中規模の会議室を1階に設け、地域の交流拠点としての機能の充実を図る。

(1) 和室の洋室化の工事費 7,370,000円

(2) 洋室化した会議室の備品購入費 1,682,464円

10 教育費 4 社会教育費 4 文化財保護費

② 文化財保護事業費（文教課・文化推進課）

市内の文化財を保護し、普及・活用を促進するため、次の事業を実施した。

1 市域に所在する指定文化財等

令和7年3月31日現在

		有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物			文化的 景観	伝統的 建造物群 保存地区	保存技術	合計
		建造物		美術工芸品							有形	無形	史跡	名勝	天然記念物				
件数	棟数	彫刻		絵画	古文書	考古資料	歴史資料												
仏像	石造物																		
国	指定	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	7
	登録	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
府	指定	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	登録	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	選定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	暫定登録	0	0	0	0	0	7	17	7	0	2	0	1	0	0	0	0	0	34
市	指定	0	0	7	1	2	5	7	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	27
合計		30	31	7	1	3	14	25	8	0	3	2	6	0	0	1	0	0	100

2 有形文化財の保護

(1) 文化財火災予防運動（乙訓消防組合との共同事業）

令和7年1月23日～29日（令和7年1月26日は、「第71回文化財防火デー」）に次の運動を行った。

ア 広報活動 広報紙による啓発と併せ、国登録有形文化財「旧上田家住宅」に看板設置

イ 消防訓練 令和7年1月26日 向日神社にて実施

ウ 立入検査 1月24日 指定文化財及び登録文化財の建造物に立ち入り、消防設備の点検及び防火意識の高揚を図った。

(2) 向日市文化財保護事業補助金交付事業

社寺及び個人等が所有する文化財等の維持管理に要する経費に対し補助を行った。

ア	向日神社本殿（国指定重要文化財）	防災設備維持管理等	200,000円
イ	向日神社本殿（国指定重要文化財）	危険木の伐採	115,000円
ウ	須田家住宅（府指定文化財）	防災設備維持管理等	24,000円
エ	須田家住宅（府指定文化財）	建造物保存修理等	171,000円
オ	南真経寺開山堂・本堂（府指定文化財）	防災設備維持管理等	23,000円
カ	南真経寺開山堂（府指定文化財）	建造物保存修理	590,000円
キ	大極殿遺蹟保存協賛会	文化財保護団体の育成	40,000円
ク	森本遺跡保存会	文化財保護団体の育成	19,000円
ケ	物集女城を考える会	文化財保護団体の育成	19,000円

(3) 向日庵(旧寿岳家住宅)の国有形登録文化財(建造物)への登録

昭和初期に建てられた中廊下型の典型的郊外型住宅であるが、換気及び通気の徹底、造り付け家具の工夫など、住環境に配慮した建築装置が充実している。地区における数少ない昭和初期の住宅として、西向日住宅地の良好な景観を構成する重要な建物であり、国有形文化財の登録を受けた。

- ア 名 称 向日庵（旧寿岳家住宅）主屋
向日庵（旧寿岳家住宅）門及び土留
- イ 告 示 日 令和7年3月13日
- ウ 所 在 地 向日市上植野町浄徳10番地1

3 記念物の保護

(1) 史跡長岡宮跡大極殿東面回廊地区保全整備事業（令和6年度主要事業）

長岡宮跡大極殿東面回廊地区の史跡を適切に保護し、市民の憩いの場や文化交流の場となるよう多様な活用に供する「史跡公園」として整備工事を実施した。

事業地 鶏冠井町大極殿地内

事業面積 1,068.09㎡

ア 保全整備工事施工監理業務

- (ア) 内 容 工事施工監理を実施した。
- (イ) 委託期間 令和6年5月17日～令和7年3月31日
- (ウ) 事業費 1,346,400円

イ 史跡保全整備工事

- (ア) 内 容 フェンスの設置や遺構表示工事等を実施した。
- (イ) 工 期 令和6年10月5日～令和7年3月31日
- (ウ) 事業費 24,228,600円

(2) 史跡・遺跡等文化財用地の保存と維持管理

ア 内 容 市内に所在する国・府及び市指定史跡などの遺跡11か所を適切に保存・維持するため、除草や清掃等の維持管理業務を実施した。

- イ 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ウ 事業費 2,960,043円

(3) 史跡乙訓古墳群五塚原古墳の樹木伐採

ア 内 容 史跡乙訓古墳群五塚原古墳の史跡境界を越境し、前面道路や隣接地に繁茂している樹木等の剪定等を行い適正な維持管理を図った。

イ 回 数 4回

ウ 事業費 1,980,000円

(4) 史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳の樹木伐採

ア 内 容 史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳の史跡指定地内の孟宗竹間伐処分等実施し、史跡環境の適正な維持管理を図った。

イ 回 数 2回

ウ 事業費 990,000円

(5) 物集女城跡の国史跡指定

物集女城跡は京都近郊に残る数少ない中世城館で、畿内近国の中世の政治経済状況を知る上で重要な遺跡であり、京都府下における中世城館として初めての史跡指定を受けた。

ア 名 称 物集女城跡

イ 指定年月日 令和6年10月11日

ウ 所在地 向日市物集女町中条10番 ほか16筆

エ 指定面積 7,568.45㎡

史跡指定地一覧表

史跡長岡宮跡

(単位：㎡)

名称	地区	指定年月日	所在地	小字	史 跡 の 所 有 形 態							整 備 状 況				
					国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
史跡長岡宮跡	大 極 殿 ・ 小 安 殿 地 区	昭和39年4月27日	鶏冠井町	大極殿・萩所	0.00	2,510.61	557.22	0.00	0.00	0.00	0.00	3,067.83	3,067.83	0.00	0.00	3,067.83
	内裏内郭築地回廊地区	昭和48年4月23日		荒内	0.00	1,165.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,165.98	1,165.98	0.00	0.00	1,165.98
	築 地 地 区	昭和56年9月8日		稲葉	323.96	0.00	633.70	0.00	0.00	0.00	0.00	957.66	957.66	0.00	0.00	957.66
	朝 堂 院 西 第 四 堂 地 区	平成4年5月6日		山畑	0.00	0.00	1,867.86	0.00	0.00	0.00	0.00	1,867.86	1,867.86	0.00	0.00	1,867.86
	宝 幢 地 区	平成11年1月14日		萩所	0.00	0.00	577.74	0.00	0.00	328.95	0.00	906.69	0.00	741.74	164.95	906.69
	間 門 地 区	平成14年3月19日		萩所	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	769.84	769.84
	朝堂院西第四堂・南門地区	平成14年9月20日		山畑	0.00	0.00	662.18	0.00	0.00	0.00	0.00	662.18	662.18	0.00	0.00	662.18
	間門前庭・朝堂院南面回廊地区	平成18年7月28日	野上町植	萩所・山畑 南開	0.00	0.00	1,783.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1,783.50	922.34	0.00	861.16	1,783.50
	大 極 殿 東 面 回 廊 地 区	平成22年2月22日	鶏冠井町	萩所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	324.03	0.00	324.03	0.00	0.00	324.03	324.03
	大 極 殿 西 ・ 北 面 回 廊 地 区	平成26年3月18日		大極殿	0.00	0.00	2,752.90	0.00	0.00	0.00	0.00	2,752.90	1,684.81	0.00	1,068.09	2,752.90
	内裏内郭築地回廊・外郭築地区	平成28年10月3日		東井戸・萩所	0.00	0.00	1,410.73	0.00	0.00	0.00	0.00	1,410.73	0.00	0.00	1,410.73	1,410.73
	大極殿北面回廊地区L	平成31年2月26日		大極殿	0.00	0.00	28.07	0.00	0.00	0.00	0.00	28.07	28.07	0.00	0.00	28.07
	計					323.96	3,676.59	11,043.74	0.00	0.00	652.98	0.00	15,697.27	10,356.73	741.74	4,598.80

史跡乙訓古墳群

(単位：㎡)

名称	指定年月日	所在地	小字	史 跡 の 所 有 形 態								整 備 状 況			
				国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
五塚原古墳	平成28年3月1日 (平成31年2月26日追加)	寺戸町	芝山古城	0.00	0.00	35,676.84	0.00	0.00	262.94	1,302.44	37,242.22	0.00	0.00	37,242.22	37,242.22
元稲荷古墳	平成28年3月1日	向日町	北山	0.00	2,069.96	6,442.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8,511.96	0.00	0.00	8,511.96	8,511.96
寺戸大塚古墳	平成27年3月10日 (平成28年3月1日追加) (平成31年2月26日追加)	寺戸町	芝山	0.00	0.00	4,380.14	0.00	0.00	0.00	0.00	4,380.14	0.00	0.00	4,380.14	4,380.14
南条古墳	平成28年3月1日	物集女町	南条	0.00	0.00	0.00	0.00	656.23	0.00	0.00	656.23	0.00	0.00	656.23	656.23
物集女車塚古墳	平成28年3月1日	物集女町	南条	0.00	0.00	1,911.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,911.00	1,911.00	0.00	0.00	1,911.00
計				0.00	0.00	48,409.98	0.00	656.23	262.94	1,302.44	52,701.55	1,911.00	0.00	50,790.55	52,701.55

4 埋蔵文化財の保護

(1) 埋蔵文化財の届出審査等

周知の埋蔵文化財包蔵地内（遺跡内）の文化財保護法による届出・通知を審査し、その他各種の調査を実施した。

ア	開発、まちづくり条例に係る文化財審査	33 件
イ	建築確認申請に係る文化財審査	205 件
ウ	届出書受理件数	180 件（遺跡内での個人・法人等が実施した土木工事件数）
エ	通知書受理件数	18 件（遺跡内での公共機関が実施した土木工事件数）
オ	発掘調査件数	8 件 1971.00 m ² （「令和 6（2024）年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表」参照）

カ 工事立会件数 157 件

(2) 埋蔵文化財の保存と整備（各種の調査、報告、広報、普及など）

埋蔵文化財の保存と各種の調査及び資料収集等を実施した。

ア	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金対象事業	18,997,000 円
イ	向日市単独事業	2,970,000 円
ウ	原因者負担金事業	
	公益財団法人向日市埋蔵文化財センターが原因者から受託	36,762,000 円
エ	埋蔵文化財発掘調査	

令和6（2024）年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表							
	遺跡名	調査回数	調査地	調査原因 （土地所有者等）	調査期間	面積 (m ²)	出土 遺物数 (箱)
1	長岡宮跡	第546次	寺戸町小佃	法人開発	24.06.03～24.06.14	21.00	6
2	長岡宮跡	第547次	寺戸町向畑	法人開発	25.02.17～25.03.07	54.00	2
3	長岡宮跡	第548次	鶏冠井町東井戸	個人開発	25.03.10～25.03.25	30.00	1
4	長岡京跡	左京第694次	森本町野田	法人開発	24.07.16～24.08.22	120.00	4
5	長岡京跡	左京第695次	森本町竹園子	法人開発	24.07.16～24.07.26	30.00	1
6	長岡京跡	左京第696次	上植野町御妙林	法人開発	24.08.19～24.08.26	16.00	1
7	野田遺跡	第13次	森本町野田	法人開発	24.10.10～25.03.31	1,580.00	3
8	寺戸大塚古墳	第15次	寺戸町芝山	範囲確認	25.01.08～25.03.31	120.00	9
合計						1,971.00	27
						一発掘調査あたりの平均	246.38 3.4

発掘調査面積は、1 件平均246.38m²である。

(3) 報告書等刊行事業

ア	『向日市埋蔵文化財調査報告書 第126集』	300冊	〔埋蔵文化財発掘調査事業〕
イ	『向日市埋蔵文化財調査報告書 第127集』	300冊	〔埋蔵文化財発掘調査事業〕
ウ	『向日市埋蔵文化財調査報告書 第130集』	300冊	〔埋蔵文化財発掘調査事業〕

(4) 市内埋蔵文化財調査出土遺物の保存と整理

ア 長岡京跡ほか出土遺物保存処理業務

(ア) 目 的 埋蔵文化財発掘調査出土品に、科学的処理を施し、腐食等の進行を最小限に留めて、向日市文化資料館等での展示など、活用に供するため。

(イ) 処理方法 鉄製品 アルカリ性水溶液含浸
銅製及び青銅製 ベンゾトリアゾール溶液含浸

(ウ) 委託期間 令和6年6月29日～令和7年2月20日

(エ) 点 数 京都府指定文化財（考古資料）
物集女車塚古墳出土 剣菱形杏葉 3点

(オ) 事業費 372,900円

イ 長岡京跡ほか出土遺物整理業務

(ア) 目 的 数多くある埋蔵文化財出土遺物を適切に管理するため、国や府の基準に基づき分類整理するとともに、公開活用に供するため。

(イ) 業務内容 出土遺物の整理及び台帳の作成を行った。

(ウ) 点 数 447点（累計75,804点）
※将来にわたり保存・活用の必要性や活用度が高いもの

(エ) 事業費 440,000円

5 文化財の広報普及事業

(1) 物集女車塚古墳の石室一般公開

ア 事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
史跡長岡宮跡ほか地域の特色ある埋蔵文化財活用業務

イ 目 的 平成6年度に整備工事を完了した物集女車塚古墳の石室を広く市民に公開し、古墳への理解と文化財保護意識の向上を図るため。

ウ 開催日 令和6年5月25日～6月2日

エ 場 所 物集女車塚古墳

オ 見学者 601人

(2) 「墳タビ！ 物集女車塚古墳」

史跡乙訓古墳群物集女車塚古墳の理解を促進するためAR、VR技術を用いて作成した無料アプリケーションを通じ、史跡の一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。

ダウンロード数 186人（平成28年度からの累計 10,429人）

(3) 古代衣装の貸出

長岡京時代の衣装（雑色3、女官3）を朝堂院公園に常備し、来園者に貸し出すほか、イベントの際には、史跡案内員が着用し、史跡の解説を行った。

貸し出し人数 12人

(4) 資料の貸出等

本市所蔵の出土遺物や写真資料等を他機関へ貸し出すなど、文化財保護及び本市の文化財について広報普及を図った。

ア 貸出

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	大阪歴史博物館	4	常設展示「難波宮の時代」出展
2	京都府立山城郷土資料館	3	常設展示「南山城の歴史と文化」出展
3	兵庫県立考古博物館	31	特別展「うつりゆく甲と冑-弥生から江戸へ-」
4	公益財団法人京都市生涯学習振興財団	3	古典の日記念 京都市平安京創生館 復元模型製作30周年記念企画展「みやこの変遷と都市計画を考えるー平安京に至るまでー」
計		41	

イ 写真資料提供、掲載

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	一般企業	6	出版物に掲載
2	個人	1	出版物に掲載
3	一般企業	1	出版物に掲載
4	官公庁	3	展示、出版物に掲載
5	官公庁	31	展示、出版物に掲載
6	個人	1	出版物に掲載
7	官公庁	4	展示、出版物に掲載
8	一般企業	1	出版物に掲載
9	一般企業	1	出版物に掲載
10	個人	1	出版物に掲載
11	官公庁	1	出版物に掲載
計		51	

ウ 資料調査

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	個人	25	調査研究
2	公益財団法人京都市生涯学習振興財団	3	調査研究
3	立命館大学	15	卒業論文
計		43	

(5) 文化財の普及・啓発

ア 事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

史跡長岡宮跡ほか地域の特色ある埋蔵文化財活用業務

イ 目的 朝堂院公園での案内をはじめ、展示や講演会、考古学講座などを一体的に実施し、市民の参加や史跡等の活用の機会を増やし文化財保護への理解を深めるとともに、文化遺産を生かした観光振興・地域活性化を目指すため。

ウ 業務 公益財団法人向日市埋蔵文化財センターに委託

エ 内容

(ア) 史跡長岡宮跡：朝堂院公園地区

案内員を配置して、史跡の管理、説明を行った。

来訪者数 6,118人 (平成22年度からの累計 98,549人)

(イ) AR長岡宮の利用者数

史跡長岡宮跡の理解を促進するためAR、VR技術を用いて作成した無料アプリケーションを通じ、史跡の一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。

ダウンロード数 372人 (平成26年度からの累計 18,981人)

タブレット貸出数 5人 (平成26年度からの累計 5,296人)

(ウ) 市民考古学講座「長岡宮内裏～内裏正殿の再発掘」

演題 講師		開催日 開催地等	内 容	参加者
1	「内裏正殿の再発掘と内裏の歴史」 向日市埋蔵文化財センター職員	令和6年9月28日 文化資料館研修室	講座	35人
2	「内裏を彩った出土遺物-土器・瓦・小札-」 向日市埋蔵文化財センター職員	令和6年10月5日 文化資料館研修室	講座	27人
3	「発掘調査からみた長岡宮内裏の構造」 向日市埋蔵文化財センター職員	令和6年11月16日 文化資料館研修室	講座	27人
講演会	「平安京における内裏の構造と変遷」 同志社女子大学教授	令和6年10月27日 永守重信市民会館	講演会	45人
計				134人

(6) 史跡長岡宮跡・南内裏公園地区・国登録有形文化財：旧上田家住宅

案内員を配置して史跡の説明や管理、貸室業務を行った。

来訪者数 9,020人 (令和3年度からの累計 26,705人)

貸室利用者数 152組 3,954人 (令和3年度からの累計 512組 19,298人)

(7) 令和6年度調査研究成果展

ア 『長岡宮内裏～内裏正殿の再発掘』

(ア) 期 間 令和6年9月7日～令和6年10月14日

(イ) 場 所 文化資料館研修室

(ウ) 来館者数 1,547人

(エ) 講 演 会

a 開催日 令和6年9月16日

b 場 所 永守重信市民会館

c 内 容 「日本古代都城における大極殿・朝堂院・内裏-歴代王権の理想像を考える-」
(講師 龍谷大学教授)

d 参加者 63人

(8) 復元体感具学習会開催業務

史跡長岡宮跡の適切な保全と広報・普及啓発を図るため、朝堂院西第四堂を模した塩化ビニル製の体感具を活用したイベントを開催した。

ア 開催日・場所 令和7年2月13日 向日市民体育館

イ 対象年齢 3歳以上から小学6年生以下まで

ウ 参加者 55人

6 文化財保護審議会

ア 開 催 日 令和7年1月27日

イ 場 所 向日市役所別館3階第10会議室

ウ 内 容 本市におけるこれまでの文化財行政について
向日市民温水プールの再整備について

7 乙訓文化財事務連絡協議会

(1) 目的

乙訓2市1町の教育委員会、公益財団法人向日市埋蔵文化財センター、公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センターの5機関で構成し、情報交換及び相互の連絡調整を図ることを目的とする。

(2) 「長岡京発掘70周年 スライドでみるおとくへの発掘」開催

ア 開 催 日 令和7年3月2日

イ 場 所 永守重信市民会館2階 第2会議室

ウ 内 容

(ア) 「長岡京の全貌－70年目の真実－」

(講師 公益財団法人向日市埋蔵文化財センター)

(イ) 「長岡京北方の様相－溝路遺跡の調査成果から－」

(講師 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所)

(ウ) 「長岡京の邸宅と大型建物の調査」

(講師 公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター)

(エ) 「長岡京南部の調査成果」

(講師 大山崎町教育委員会)

エ 参 加 者 90人

1 0 教育費 4 社会教育費 5 留守家庭児童会育成費

① 留守家庭児童会育成費（生涯学習課）

1 留守家庭児童会の入会児童数

（単位：人）

留守家庭児童会	児童数（5月1日現在）									
	6年度							5年度	4年度	3年度
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計			
第 1	44	47	39	28	10	7	175	166	140	124
第 2	41	49	28	20	5	2	145	131	108	104
第 3	21	24	24	10	10	1	90	97	91	66
第 4	74	57	57	38	21	2	249	198	175	156
第 5	37	44	31	24	10	13	159	154	134	150
第 6	25	26	16	9	1	0	77	65	65	46
合 計	242	247	195	129	57	25	895	811	713	646

留守家庭児童会保護者協力金調定額 （現年度分）	令和6年度 55,584,100円	令和5年度 50,381,000円	令和4年度 42,122,700円	令和3年度 36,765,900円
----------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

留守家庭児童会	指導員・補助員数	アルバイト数（加配）	施 設	
第 1	6 人	4 人	鉄骨造	297.00㎡
第 2	6	5	鉄骨造	160.58
			木造	199.53
第 3	4	4	鉄骨造	167.59
第 4	10	7	鉄骨造	200.81
			木造	299.58
第 5	7	4	鉄骨造	287.67
第 6	4	4	鉄骨造	106.00
			木造	207.47
合計	37	28		

（令和6年5月1日現在）

2 留守家庭児童会指導員研修会

留守家庭児童会指導員の資質向上を図るため、研修会を実施した。

実施月	研 修 内 容
5月	救命救急講習
6月	情報セキュリティと入退室システムについて
9月	留守家庭児童会の役割と保護者対応
10月	児童の指導に係る研修
12月	消防訓練
1月	保護者との連携・協力と相談支援
2月	不審者対応研修

3 民間放課後児童健全育成事業費補助事業

本市に届出のあった放課後児童健全育成事業を実施する民間事業者に対し、事業費の一部を補助した。

事業者	児童数	補助額
もずめクラブ	30	8,618,000円
放課後クラブ251/251__2nd	33/-	6,670,000円/7,705,000円
放課後クラブわくミラ	-	4,632,000円

※放課後クラブ251、251__2ndは同一非営利法人が運営

※放課後クラブ251__2nd、放課後クラブわくミラは令和7年度開設準備に係る費用を補助

10 教育費 4 社会教育費 6 図書館費

② 図書館管理運営費（図書館）

1 資料受入れ、廃棄状況

(1) 図書、聴覚資料

(単位：冊、点)

	一般図書	児童図書	CD	カセット	合 計
購 入	1,291	589	0	0	1,880
寄 贈	266	55	19	0	340
その他	41	48	0	0	89
廃 棄	1,423	1,929	1	2	3,355
合 計	175	△ 1,237	18	△ 2	△ 1,046

(2) その他の資料

	雑 誌 (種)	雑 誌 (冊)	新 聞 (種)
購 入	53	705	8
寄 贈	13	161	2
合 計	66	866	10

2 資料所蔵状況

(1) 資料総数

合 計	一 般 図 書	児 童 図 書	雑 誌	聴 覚 資 料
200,264	134,357	56,457	3,449	6,001

(2) 図 書

(単位：冊)

	一 般 図 書	児 童 図 書	合 計
総 記	4,318	412	4,730
哲 学 ・ 宗 教	4,406	273	4,679
歴 史 ・ 地 理	13,924	1,777	15,701
社 会 科 学	20,152	1,770	21,922
自 然 科 学	8,877	3,741	12,618
技 術 ・ 家 政 学	9,653	1,434	11,087
産 業	3,688	820	4,508
芸 術 ・ ス ポ ー ツ	10,990	1,614	12,604
言 語	2,124	514	2,638
文 学	20,424	19,353	39,777
近 代 小 説	33,645		33,645
外 国 の 本	582	129	711
絵 本		22,011	22,011
紙 芝 居		1,545	1,545
長岡宮跡関係	149		149
向日市関連	564	79	643
ヤングアダルト	861	985	1,846
合 計	134,357	56,457	190,814

(3) 聴覚資料

(単位：点)

資 料 名	
C D	4,844
カセットテープ	1,139
レ コ ー ド	18
合 計	6,001

3 図書館運営状況

(1) 貸出資料数

(単位：冊、点、日)

合 計	一般図書	児童図書	雑 誌	聴覚資料	他館借用 資 料	開館日数	平 均		
							1日当たり	土日	祝日
274,128	135,162	120,864	8,156	8,417	1,529	287	955	1,364	948

(2) 貸出者数

(単位：人、日)

合 計	一 般	児 童	団 体	開館日数	平 均		
					1日当たり	土日	祝日
84,103	73,808	9,820	475	287	293	392	272

(3) 各種サービス

資料の貸出しのほか、以下のサービスを行った。

ア レファレンス	68件
イ コピー	5,163枚（うちカラー254枚）
ウ 予約	29,823件
エ 他館との資料の相互貸借	貸出し 1,109点 借用 1,615点
オ 障がい者サービス	自宅配本 26回 174点
カ 外部データベース・インターネット	利用件数 295件

(4) インターネットホームページの運営・管理

- ア 「ブックリスト」管理※の運用
 - イ 「資料検索」ページの充実
 - ウ インターネットサービスの運用（インターネット予約受付件数 24,332件、貸出期間の延長）
 - エ 「京都府図書館総合目録ネットワーク」の横断検索に対応
- ※「ブックリスト管理（読書推進サービス）」は、読書記録等を専用のインターネットサイトに残す機能

4 雑誌スポンサー制度

10法人が申請し、13誌の提供をいただいた。

5 施設利用の促進

(1) 自習室の開設

研修室の空いている期間を利用し、夏休み期間に自習室を開設した。

令和6年8月12～23日 141人 《対象》小学5年生以上

(2) 自習スペースの常時開放

参考図書室の閲覧席を、開館時間中いつでも自習席として利用できるよう開放した。

利用者数 2,468人（通年）

6 施設の維持管理等

- (1) スロープ下のタイル修繕、東側外階段の修繕を行った。
- (2) 屋上排気ファン修繕、空調プロテクトリレー交換修繕などを行った。
- (3) 玄関アプローチ他植栽の植替を行った。
- (4) 図書館内の閲覧用ソファの一部張り替えを行った。

7 電子書籍サービス「どこでも図書館」事業（令和6年度主要事業）

令和6年11月1日から、図書館の収集した電子書籍をインターネット上で利用者に貸出した。

- (1) コンテンツ数（令和7年3月末日現在） 1,012点
- (2) 年間ログイン人数 629人
- (3) 年間貸出回数 813回

③ 読書推進事業費（図書館）

1 読書推進事業

事業名、テーマ	開催日	参加人数	内 容
<おはなし会> 『なつやすみ おはなし会』 『クリスマス おはなし会』 『はるやすみ おはなし会』	令和6年7月23日 7月25日 令和6年12月24日 令和7年3月25日	41人 29人 29人	絵本によるお話、紙芝居を職員が行った。 ≪対象≫4歳～小学校低学年、保護者同伴可
おはなしひろば	令和6年 4月20日・5月18日 6月15日・9月21日 10月12日・11月16日 令和7年 1月18日・2月15日	250人	親と子どものふれあい、児童の読書推進を目的に、図書館ボランティアが開催した。
大人の朗読会	令和6年6月18日 9月29日 12月17日 令和7年3月30日	69人	名作の朗読を聴く会を図書館ボランティアが開催した。
むこうビブリオバトル	令和6年7月27日 11月30日 令和7年3月29日	33人	発表者が5分間で、互いに本を紹介しあう「ビブリオバトル」を、図書館ボランティアが開催した。
虹いろおはなし会	令和6年5月26日 8月31日 11月24日 令和7年2月9日	33人	テーマに沿った作品の朗読を聴く会を図書館ボランティアが開催した。
子ども読書の日・こどもの読書週間記念事業 「どきどきわくわくみつけた！むかしばなし探偵」	令和6年4月3日～5月12日	-	問答様式で絵本の情報を参加者に調査してもらい、集まった情報をロビーに掲示。関連本の展示、貸出。
第23回小中学生読書感想文コンクール	募集期間 令和6年9月1日～23日 入賞者表彰式 令和6年12月21日	155人	市内の小・中学生を対象に読書感想文を公募した。その中から優秀作品を選考し表彰式を実施するとともに入賞作品集を発行した。
図書館おはなし会ボランティアステップアップ講座	令和6年9月6日	14人	図書館おはなし会ボランティアの技能向上のための講座を実施した。
図書館おはなし会ボランティア養成講座	令和6年9月20日 9月21日	13人	図書館で活動していただける新たなボランティアを募集し、最初に必要な技術を習得してもらうことを目的に実施。13人の受講者のうち1人がボランティア登録を行った。
体験学習、施設見学	令和6年9月・11月	体験1校 見学5校6回	市内の中学校2年生（4人）の体験学習及び市内小学校（450人）の施設見学を受け入れた。
第13回「子ども読書本のしおりコンテスト」入賞作品の展示	令和6年12月20日～12月25日	-	京都府図書館等連絡協議会主催の「子ども読書本のしおりコンテスト」の入賞作品を借用して展示した。

事業名、テーマ	開催日	参加人数	内 容
バリアフリー図書コーナー 「りんごの棚」	令和6年4月 ～令和7年3月	—	点字絵本、LLブック（※）、大活字本などをあつめたコーナーを常設し、利用促進を図った。 ※LLブックとは、やさしくてわかりやすいように書かれた本
図書館・文化資料館特別展「渡邊武と文人たち」	令和6年11月2日 ～11月17日	357人	かつて向日市に在住していた薬学博士渡邊武氏から寄贈された図書館所蔵の美術工芸品と、文化資料館所蔵の渡邊家資料を、文人たちとの交流のエピソードとともに紹介した。
ミニミニリサイクルコーナー	令和6年4月 ～令和7年3月	—	保存年限の経過した図書や雑誌を、資源の有効活用を目的として市民に無償で譲渡した。 (4, 184冊)
他機関との協力	随時	—	社会福祉協議会、市、関連団体の事業にあわせたテーマ（「認知症」、「平和と人権」、「読書週間」など）で図書の展示貸出を実施した。
展示	随時	—	利用者が児童図書を推薦する掲示板「本の木」（150枚）、季節、催事にあわせて図書を展示するテーマ架など年間をとおして図書に関わる展示を行い貸出へつなげた。

2 ボランティア活動

- (1) アベリアクラブ 20人
活動 本の修理 延べ 822人、1, 889冊を修理
- (2) きつず・らいぶらりー 20人
活動 おはなしひろば 8回開催 参加人数 子ども 131人 大人 119人
打ち合わせ・リハーサル等延べ活動人数 296人
- (3) 大人の朗読会ボランティア 4人
4回開催 参加人数 69人
- (4) むこうビブリオバトル部 4人
3回開催 参加人数 33人
- (5) 虹いろ朗読会 5人
4回開催 参加人数 33人

1 0教育費 4 社会教育費 7 資料館費

② 資料館運営費（文化資料館）

1 入館者の状況

- (1) 入 館 者 数 13, 455人
- (2) 開 館 日 数 294日
- (3) 1 日平均入館者数 46人
- (4) 団 体 見 学 37団体（20人以上の団体のみ）

2 施設の維持管理

清掃管理、リフト保守管理、空調設備保守管理、消防設備点検、樹木剪定、燻蒸業務、自動ドア保守管理、電話機の更新などを委託し、施設の適切な維持管理に努めた。

③ 文化活動推進事業費（文化資料館）

1 事業

事業名・テーマ	開催日時	参加人数	内 容
「戦国時代へタイムスリップ！～西岡衆をさぐる～」活動報告会	令和6年5月3日 午後2時～4時	50人	令和5年8月から令和6年2月まで、向日市内の小中学生が、西岡衆について学ぶ全10回の学習・体験活動を行った。その活動を記録した動画の上映や学習内容の解説、西岡衆をテーマとした歴史紙芝居の上演を行った。
日曜談話会 ①「扁額と古文書ー京都府暫定登録文化財の古文書を読んで社額の由緒や江戸時代の村を調べようー」 ②「報告『その後の物集女氏』」 ③「陶芸家・河合卯之助の横顔」	①令和6年5月5日 午前10時30分～正午 ②令和6年9月15日 午後2時～3時30分 ③令和6年11月17日 午後2時～3時30分	①28人 ②96人 ③20人	文化資料館職員等が、日頃の展示・普及活動の準備や資料調査によって得られた成果をテーマを設けて、紹介した。
ボランティア養成講座	令和6年5月18日 午後2時～3時30分	18人	ボランティアガイドの会、古代衣裳製作ボランティア、むこうまち歴史サークルの活動内容を紹介し、新たなメンバーを募る第一歩とするとともに、各グループ相互の交流を図った。
「作って学ぼう 古代のみやこ・長岡京」	令和6年7月21日 午後1時30分～3時30分	20人	常設展示の見学、出土した瓦をモチーフにした瓦マグネットや貴族が身に付けていた装飾品の製作体験、古代衣裳の着用体験を通じて、向日市に中心部分があった古代のみやこ・長岡京について学んだ。
夏休み親子歴史教室 「伝統文化を学ぼう-紙漉きと書道-」	令和6年7月24日～26日 午後1時30分～3時30分	14人(延べ42人)	市内に居宅があった英文学者・和紙研究家の寿岳文章の業績や和紙の性質などを学習するとともに、紙漉きや和紙を用いたうちわづくりを体験した。最終日は漉いた和紙やうちわに好きな文字を、筆を使って書いた。
2024戦国時代へタイムスリップ！ー西岡衆を深める 文書と寄合ー	令和6年7月27日 午後1時30分～4時30分	6人	文書(もんじょ)の勉強や寄合の体験を通して、乙訓の戦国時代について学習をした。
小さいピアノ ♪コンサート	令和6年11月9日 午後2時～4時	演奏者 12人 鑑賞者 43人	令和元年に実施した「小さいピアノ ♪再生ワークショップ」によってよみがえったピアノでコンサートを開催した。
物集女城跡国史跡記念シンポジウム関連事業 「学んで伝える戦国時代の西岡衆」	令和6年11月24日 午前10時30分～午後4時30分 令和6年12月1日 午後1時30分～4時 令和7年1月11日 午前10時40分～11時	6人 (延べ14人)	物集女城の城主である物集女氏が活躍した室町・戦国時代の乙訓・西岡の歴史を学び、武士の装備品「かぶと」を製作した。物集女城跡国史跡記念シンポジウムでは、学んだことを基に専門家に質問をし、理解を深めた。

事業名・テーマ	開催日時	参加人数	内 容
乙訓戦国ミュージアムウォーク 向日コース	令和6年12月8日 午前10時～午後1時	48人	戦国時代に乙訓の有力国衆として活躍した物集女氏の居館、物集女城跡が国史跡となった。ふだん立ち入れない内郭や土塁を見学し、周辺の寺院や旧街道沿いに残された物集女氏の足跡をたどった。
物集女城跡国史跡記念シンポジウム	令和7年1月11日 午前10時～午後5時	334人	物集女城跡が国史跡となったことを記念して、物集女城跡の調査・研究に携わる専門家が一堂に集まり、物集女城跡の歴史的・文化的価値とその魅力に迫った。冒頭には、戦国時代の西岡を学ぶ地元の小学生在専門家に質問するコーナーも設けた。
物集女城跡国史跡記念シンポジウム録画映像上映会	①令和7年3月21日 ②令和7年3月22日 ③令和7年3月23日 午前10時5分～午後4時	①25人 ②32人 ③18人	令和7年1月11日に開催した物集女城跡国史跡記念シンポジウムの録画映像を上映した。

2 むこうまち歴史サークルの育成

文化資料館を拠点とする自主学習サークルとして、テーマごとに班を編成し、各班ごとに毎月2回の学習活動が行われており、その活動を支援・育成した。（登録者35人）

4月27日：年次総会

歴史学習班：地域の歴史を研究し、その成果を取りまとめ、記念誌の発行を行う。

石造物班：石造物に特化した調査研究班。建碑場所の地図作り、碑の解説作業を行う。

史跡めぐり班：「歴史の煌めき」乙訓の文化財(京都新聞掲載)を輪読する。

古文書班：地域に残る古文書を読み解く。（資料：「千房日記」）

3 文化資料館ボランティアガイドの会の育成

常設展示案内を中心に来館者に応対するボランティアガイドの会の育成・支援を行った。（登録者16人）

活動内容

- (1) ガイド養成講座(文化資料館ボランティアガイドの会主催)の開催（全5回）
- (2) 団体見学の案内等 23件
- (3) 土曜日の案内延べ 3,182人
- (4) 定例会・懇話会 16回
- (5) 事業の運営等協力 2件

4 博物館実習生の受入

地域の歴史や文化財に関心を持ち、主体的に取り組もうとする市民を育成する目的で、当館での博物館実習を希望する大学生6人を受け入れ、展示、収蔵資料の整理・管理などの実務を指導した。

④ 調査収集展示事業費（文化資料館）

1 調査収集

- (1) 展示のための資料調査、収集、研究
- (2) 普及活動（歴史教室・日曜談話会など）のための調査、収集、研究
- (3) 乙訓の歴史・文化に関する資料調査、収集、研究
- (4) 図書の収集整理 資料館活動に関する参考図書の収集整理
（令和6年度受領図書 173機関 計379冊）

2 資料の公開

- (1) 収蔵資料貸出 1 件
- (2) 写真・模型等二次資料貸出 49 件
- (3) 資料写真撮影・複写 76 件
- (4) 考古資料閲覧 0 件
- (5) 古文書閲覧 4 件
- (6) 民具閲覧 0 件
- (7) 書籍閲覧 0 件

3 常設展・テーマ展示コーナー

- (1) 常設展示の点検、清掃、補修
- (2) テーマ展示

常設展示以外に、館収蔵品、寄託品を中心に、テーマを設けた展示を実施した。

タイトル	展示期間
向日市・乙訓の石碑	令和6年3月9日～5月6日
郷土玩具展	令和6年5月18日～7月7日
くらしのなかの戦争展「高山彦九郎像と昭和の戦争－鶏冠井石塔寺住職・明渡日正の活動を通して－」	令和6年7月13日～8月25日
ふるさと歴史紙芝居原画展	令和6年7月13日～8月25日
くらしの道具展	令和7年1月18日～3月30日
ひな人形展	令和7年2月22日～3月30日

4 市内歴史資料展示事業

- (1) 企画展「扁額・古文書・檀林関係資料」

ア 実施内容

これまでに京都府暫定登録文化財となった向日市内の文化財のうち、扁額（社額）や古文書、鶏冠井檀林関係資料を展示して、さまざまな文化財が守り伝えられていることを紹介した。

イ 開催期間 令和6年3月9日～令和6年5月6日

ウ 入館者数 1,296人（令和6年4月1日～5月6日）

5 物集女氏・物集女城跡に関する企画展（令和6年度主要事業）

(1) 企画展「中世の乙訓・西岡と物集女氏・物集女城」

ア 実施内容

乙訓・西岡の歴史を物語る貴重な古文書類を所蔵機関から写真を集めてパネル展示し、室町時代から戦国時代にかけての時代の流れを明らかにした。また物集女氏と物集女城について、新たな史料の紹介や出土品、地元に残されていた古文書などを展示し、国史跡となった物集女城跡の歴史的意義について展示・紹介した。

イ 開催期間 令和6年11月2日～令和7年1月13日

ウ 入館者数 3,083人

6 特別展

(1) 図書館・文化資料館特別展「渡邊武と文人たち」

ア 実施内容

かつて向日市に在住していた薬学博士渡邊武氏から寄贈された図書館所蔵の美術工芸品と、文化資料館所蔵の渡邊家資料を、文人たちとの交流のエピソードとともに紹介した。

イ 開催期間 令和6年11月2日～11月17日

ウ 入館者数 357人

10 教育費 4 社会教育費 8 天文館費

① 天文館管理運営費（天文館）

1 プラネタリウム関係

(1) 一般投影及び団体予約投影番組

「たいようくんとおつきちゃん」、「七夕ものがたり」、「THE MOON 月のふしぎ」、「Wonders of the Universe」、「宇宙～その大きさを感じてみよう」、「流れ星をおいかけて」、「宇宙はノンストップ」、「宙に架ける～星の距離を求めて～」
「プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて」、「銀河鉄道の夜」

ア 総入館者数及び開館日数

	観覧者数（予約及び一般投影）					ロビー 展示のみ 入館者	入館者 総数	開館日数
	投影回数	大人	小中学生	幼児	観覧者計			
計	476回	2,238人	1,064人	1,640人	4,942人	2,243人	7,906人	242日

※入館者総数には、定例観望会、特別観望会、天文学等講座、教室、特別事業参加者人数を含む。

イ 団体予約学習投影

	投影 日数	投影 回数	市内	市外	観覧料		観覧者数			
					有料	免除	大人	小中学生	幼児	合計
計	46日	46回	13件	33件	13件	33件	306人	283人	1,149人	1,738人

ウ 一般投影

	投影 日数	投影 回数	観覧者数（予約及び一般投影）			
			大人	小中学生	幼児	合計
計	168日	430回	1,930人	806人	493人	3,229人

(2) 特別企画

事業名、テーマ	開催日時（期間）	対象・人数	講師・指導者	内 容
特別天体観望会スターウォッチング in 朝堂院	令和6年4月20日	一般 0人 曇天のため中止	向日市天文館職員、ボランティア	朝堂院公園で仕事帰りや近所の住民など、望遠鏡や双眼鏡を使って月や惑星を観望を予定していた。
プラネタリウム投影券の引替事業	令和6年7月3日～2月27日	小・中・特別支援学校 166人	向日市天文館職員	天文に関心や興味をもつ機会にして欲しいという目的から鑑賞券配布を行った。
七夕ファミリーコンサート2024	令和6年8月10日 全2回	幼児、小学生とその保護者 55人	「バイオリン・ピアノの生演奏」	バイオリンとピアノの生演奏と当日の星空解説を開催した。
熟睡プラネタリウム	令和6年11月16日	一般（幼児不可） 46人	向日市天文館職員	満天の星と癒やしの音楽で深い眠りへ誘う「熟睡プラネタリウム」を開催した。
クリスマスコンサート2024	令和6年12月14日	一般（幼児不可） 63人	ギター伴奏による合唱「歌の仲間」	ギター伴奏による合唱と当日の星空解説を行い参加者のリラゼーションと天文への関心を深められるよう開催した。
キッズプラネタリウム	令和7年3月1日 全2回	一般（幼児は保護者同伴） 65人	向日市天文館職員	創作物語「ひかり水をさがしに～もうひとつの銀河鉄道～」の投影と冬の星空案内を開催した。

2 天体観望会関係

事業名、テーマ	開催日時（期間）	対象・人数	講師・指導者	内 容
(1) 定例天体観望会	毎月第2土曜日 4月～9月 午後8時～9時 10月～3月 午後7時～9時	一般 290人	向日市天文館職員、向日市天文館ボランティア	星空解説や星座等の観望を通して天体への関心を深めてもらうことを目的に開催した。 開催回数 11回 天体観測・星空解説開催 8回 星空解説のみ開催 3回
(2) 特別天体観望会				
夏の親子天体観望会	令和6年8月17日	小学生とその保護者 30人	向日市天文館職員、向日市天文館ボランティア	小学生とその家族が天体観望会に参加し、反射望遠鏡・屈折望遠鏡等で観望した。
昼の金星観望会	令和7年1月10日～12日	一般 38人	向日市天文館職員	金星の満ち欠けを反射望遠鏡・屈折望遠鏡等で観望した。

3 講座・講演関係

事業名、テーマ	開催日時（期間）	対象・人数	講師・指導者	内 容
天文実験講座 テーマ「水のように動く砂」	令和6年8月8日	小学4年生 ～中学生 11人	京都技術士会	科学の不思議を学ぶ実験講座を開催した。
天文学講座第1講 テーマ「宇宙の果てをめぐる話」	令和6年10月6日	一般（幼児不可） 41人	大阪市立科学館	宇宙の果てはどうなっているのか。宇宙のはじまりやその「はて」を、最新の観測結果も交えて紹介する講座を開催した。
出前講座 6年生テーマ『月の満ち欠けの仕組み』 4年生テーマ『月と星』	9月6日、11日、20日 10月9日、11日、25日 11月1日、6日	向日市内小学校全校 （2向小、6向小は4、6年生） 656人	向日市天文館職員	市立の小学校へ出向き、具体物の月見井を通し「月の満ち欠けの仕組み」や「星」に関する講座を開催した。
天文学講座第2講 テーマ「江戸時代の人々の太陽系知識」	令和6年12月1日	一般（幼児不可） 32人	大阪市立天文科学館学芸員	惑星や衛星、彗星といった太陽系の様々な天体。江戸時代の人々はどんな知識を持っていたのか。江戸時代以前の認識などの講座を開催した。
特別天文講演会 テーマ「『地球のお隣、火星への行き方教えます JAXAの火星衛星探査計画 MMX大解剖！』」	令和7年1月18日	一般（幼児不可） 56人	JAXA宇宙科学研究所	火星や火星探査の意義・目的、MMXの構成、プロジェクトの現状などについて講演を開催した。

4 天文教室関係

事業名、テーマ	開催日時（期間）	対象・人数	講師・指導者	内 容
夏の天文教室 ①② 「プラネタリウムで星をさがそう」	令和6年7月24日 ①② 全2回	①小学1年生～3年生 ②小学4年生～中学生 13人	向日市天文館職員	プラネタリウム室で星と一緒に探し星座の名前などを知る機会になった。
夏の天文教室 ③ 「天文キーホルダーをつくろう」	令和6年7月25日	③小学4年生～中学3年生 11人	向日市天文館職員	キットを使い、オリジナルのキーホルダーを作りより天文を身近に感じてもらった。
夏の天文教室 ④⑤ 「望遠鏡をつくろう」	令和6年7月31日④ 令和6年8月1日⑤	小学4年生～中学生 17人	向日市天文館職員	キットと使い組み立て完成した望遠鏡で対象物を観望した。
夏の天文教室 ⑥ 「星砂で星座絵をつくろう」	令和6年8月7日	小学4年生～中学3年生 9人	向日市天文館職員	黒い用紙の上に大小さまざまな星砂を使って、季節の星座絵を製作する工作教室を開催した。
秋の天文教室 テーマ「ケプラーによる太陽系像の完成」	令和6年9月8日	小学4年生以上 10人	向日市天文館ボランティア	古代ギリシャから振り返りつつ天動説が地動説に変わるまで、またケプラーによる、円軌道が楕円軌道に変わるまでの講義を開催した。
冬の天文教室 ① 「星砂で星座絵をつくろう」	令和7年2月1日	一般（小学4年生～中学生） 0人	向日市天文館職員	黒い用紙の上に大小さまざまな星砂を使って、季節の星座絵を製作する工作教室の開催を予定していた。
冬の天文教室 ② 「望遠鏡をつくろう」	令和7年2月15日	一般（小学4年生～中学年生） 10人	向日市天文館職員	キットを使い製作し、出来た望遠鏡で対象物を観望した。

1 0 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

② スポーツ健康増進事業費（生涯学習課）

市民の健康の保持・増進とコミュニケーション形成に寄与するため、市民誰もが、いつでも、どこでもスポーツ活動を行える生涯スポーツの推進に努めた。

また、生涯スポーツを振興する上で、指導的役割を担うスポーツ推進委員の資質向上のため、研修の充実に努めた。

1 スポーツ推進委員 13人（男7人、女6人）※令和6年5月1日現在

- (1) スポーツ推進委員協議会定例会を毎月第1木曜日に開催した。
- (2) スポーツ推進委員協議会において毎月1回実技研修を開催した。
- (3) スポーツ文化協会、ワイワイスポーツクラブなどが実施する事業に対して運営協力を行った。
- (4) 乙訓スポーツ推進委員連絡協議会研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
総 会	6月12日	大山崎ふるさとセンター	3人
評 議 員 会	5月29日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	8月7日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	3月27日	京都府乙訓総合庁舎	2人
第1回乙訓スポーツ指導者研修会	8月29日	向日市民体育館	13人
第2回乙訓スポーツ指導者研修会	11月20日	西山体育館	10人

(5) その他研修会等

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
第 56 回 京 都 府 スポーツ推進委員 研 究 大 会	6月30日	舞鶴赤れんがパーク	13人
近 畿 スポーツ推進委員 研 究 協 議 会	2月1日・2日	1日目島津アリーナ京都 2日目島津アリーナ京都 京都市立大將軍小学校	12人

2 学校体育施設及び向日町競輪場スポーツ施設の開放

(1) 小学校体育施設

(単位：回)

学校名	運動場開放状況						体育館（大体育室）開放状況					
	開 放 回 数		使 用 回 数		稼 働 率		開 放 回 数		使 用 回 数		稼 働 率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
向 陽 小 学 校	185	327	132	190	71.4%	58.1%	175	293	118	245	67.4%	83.6%
第2向陽小学校	186	338	77	171	41.4%	50.6%	166	303	95	275	57.2%	90.8%
第3向陽小学校	188	334	85	176	45.2%	52.7%	171	299	141	273	82.5%	91.3%
第4向陽小学校	177	315	98	237	55.4%	75.2%	168	281	135	261	80.4%	92.9%
第5向陽小学校	177	328	126	138	71.2%	42.1%	160	280	98	197	61.3%	70.4%
第6向陽小学校	189	339	146	201	77.2%	59.3%	159	283	116	225	73.0%	79.5%
合 計	1,102	1,981	664	1,113	60.3%	56.2%	999	1,739	703	1,476	70.4%	84.9%

(2) 中学校体育施設

(単位：回)

学 校 名	体育館（大体育室）開放状況		
	開放回数	使用回数	稼働率
	夜間	夜間	夜間
勝山中学校	247	226	91.5%
西ノ岡中学校	249	247	99.2%
寺戸中学校	245	189	77.1%
西ノ岡中学校武道場	242	201	83.1%
合 計	983	863	87.8%

(3) 向日町競輪場スポーツ施設

施設名	開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
多目的運動広場（Dグラウンド）	336 回		69 回		20.5%	

3 スポーツ振興事業

(1) 第43回市民総合スポーツ大会の開催（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

種 目	参加チーム・参加人数	期 日
ソフトボール 男子・シニア	6チーム／105人(8)	5月12日
テ ニ ス	4チーム／13人(12)	7月27日
ボ ウ リ ン グ	6チーム／21人(6)	7月7日
バドミントン ダ ブ ル ス	49チーム／98人(14)	6月9日
バレーボール 女 子	8チーム／72人(8)	6月30日
グラウンド・ゴルフ	雨天の為、中止	6月2日
ゲートボール	4チーム／21人(3)	6月6日
卓 球	12チーム／62人(19)	6月23日
ソフトテニス	49チーム／98人(12)	6月16日
バスケットボール	8チーム／72人(8)	6月23日
ゴ ル フ	12人(2)	7月10日
ソフトバレーボール	7チーム／35人(10)	8月31日
合 計 ： 153チーム/711人（本部役員含む）		11日間

(2) スポーツ交流フェア（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

日 程 令和6年11月23日

会 場 市民体育館・健康増進センター・向日町競輪場

競技名	参加人数
地区対抗戦 玉入れ	68 人
カーリンコン・モルック・スリータッチ	36 人
卓球室無料開放	18 人
京都ハンナリーズバスケットボールクリニック・公開練習	422 人
京都サンガサッカークリニック	14 人
京都カグヤライズ卓球クリニック	9 人
スポーツ体験（バドミントン）	36 人
トレーニング室無料開放	164 人
ヨガ・ピラティス	88 人
ミニ体力測定	52 人
インボディ測定・骨ウェーブ測定・パワープレート	336 人
BMX体験会・バンクチャレンジ	88 人
フラダンス体験会	10 人
合 計	1,341 人

(3) スポーツ情報交換会（（公財）向日市スポーツ文化協会主催事業に後援）

内 容	実施日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
市民スポーツ講演会	令和7年2月16日	都ホテル京都八条	向日市民	120人	泉 貴智 弁護士

4 体育団体育成事業

(1) 少年スポーツ団体への事業補助

団 体 名	種 目 名	団 員 数
向日市スポーツ少年団本部 (野球2、サッカー1、バレー1、剣道1、少林寺2、空手1)		8 団体
向日市野球スポーツ少年団	野 球	27 人
向日レジェンド	野 球	32 人
向日ポパイズ	野 球	24 人
向日ウィングス少年野球クラブ	野 球	50 人
向日市バドミントン協会 向日市ジュニア	バドミントン	28 人
向日市柔道教室	柔 道	21 人
少林寺拳法京都向日町スポーツ少年団	少 林 寺 拳 法	16 人
育成事業補助金額	304,000 円	合 計
		198 人

(2) （公財）向日市スポーツ文化協会への運営・事業補助

○運営・事業補助金 総額 48,591,000円

(内訳) 運営補助金 19,350,000円

事業補助金 29,241,000円

○加盟団体 地区体育振興会 11 地区

種 目 団 体 11 団体

5 各種大会等選手派遣事業

京都府下（市町村対抗）に選手を派遣した。

延べ320人

大会名	期 日	市 町 村 対 抗 競 技	市町村交流種目
第47回京都府民総合体育大会	令和6年8月 ～ 令和7年2月	バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボール、サッカー、ボウリング、陸上競技、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ、駅伝競走（天候不良の為、中止）	ソフトバレーボール、卓球バレー、ボッチャ

6 フレンドシップ協定関連事業

向日市健康・アカデミー（健康・体力づくり教室）

(1) 実 施 日 3月7日

(2) 場 所 市民体育館

(3) 参加対象 市内在住の60歳以上の方

(4) 参加者数 20人

(5) 講 師 京都サンガF.C. 健康アカデミー コーチ

7 市民体育館管理運営

平成18年度から指定管理者制度を導入し、令和3年度から5年間の指定管理者に（公財）向日市スポーツ文化協会を指定している。

(1) 指定管理料 30,000,000円

(2) 体育室稼働率 90.3%

(3) 満足度調査の実施

8 生涯スポーツ振興事業

教育委員会のスポーツ事業の一部を（公財）向日市スポーツ文化協会に委託した。

委託料 895,914円